

平成20年度

第1回登別市図書館協議会会議録

開催日時 平成20年12月26日(金)午後1時30分

会場 登別市立図書館 3階会議室

出席者 《委員》 竹内委員長、合田副委員長、街道委員、須藤委員

《図書館》 松橋部長 内藤次長 小嶋館長、永森主査、畑辺主事

閉会 午後2時50分

◇小嶋館長

議案1、会長及び副会長の選任を議題といたします。事務局案ということですので会長には鷺別小学校校長の竹内隆さん、副会長にはのぼりべつの図書館を考える会会長の合田美津子さん、このお二人を提案したいと思いますがよろしいでしょうか。

(同意する旨の声あり)

はい、ありがとうございます。竹内さんと合田さんに決まりましたので、よろしくをお願いします。

◇竹内会長

それでは、議案2番の情報提供についてであります。最初に(1)市民自治推進委員会からの提言に対する回答について事務局から説明をお願いします。

◇小嶋館長

市民自治推進委員会からの提言の要旨は、一点目は、新たな図書館建設案策定への市民参加や市民との合意形成への仕組みづくり。二点目は、図書館運営に関する見直しについてです。一点目の新図書館の建設については、登別の財政状況から考えて当分の期間困難であること。市民参加や合意形成の仕組みづくりについては、ご提言も踏まえ適切に対応していくこと。二点目の図書館運営に関する見直しでは、司書資格の館長の配置については、当然その役割を果たすことができる人材でかつ司書の資格を要した責任者の配置に努めること。図書館の開館時間の延長については、今年度から毎週木曜日1時間30分延長し、閉館時間を7時30分までとしたこと。コピー料

金の見直しについては、1枚20円を10円に引き下げたこと、以上が情報提供の内容でございます。

◇竹内委員長

はい、只今の事務局の説明について、何かご質問がありましたらお願いします。

◇合田副委員長

自治推進委委員会にもかかわって、沢山の要望を出しましたが、大事な部分を検討していただいたことでは評価しております。当面、司書資格の館長の配置問題はクリアされたことで、今後、これに伴う人材の手当ては委員会でどのように考えているのかお伺いしたいと思います。

◇松橋部長

基本的には、職員で司書館長をかかえるのがベストとの考えで進めております。司書資格を有し、経験を積んだ優秀な人材を市の職員として採用する場合、現行の条例規則で対応できるのか。できるのであれば、どのような方法で公募するのか。給与の問題など様々な課題がありますので、現在、関係部署で検討を進めております。

◇街道委員

図書館の館長は、司書資格を持っていないとダメだというような規定があるのでしょうか。

◇松橋部長

ありません。

◇街道委員

それであれば、館長としてふさわしい人材が市役所の内外で見つければ、この司書資格の有無について、あまり問題にしなくても良いと思います。伊達市の博物館館長は学芸員の資格を持っていませんが、学芸員以上の学識や経験を持たれ、加えて、人柄も皆さんに慕われているようなこともありますから、規定に無いのであれば館長の司書資格については柔軟に考えて、登別にとって、望ましい館長さんを選ばれる方が目指す方向かなと思います。

◇松橋部長

基本的には図書館の運営については、司書資格があれば良いという問題ではなく、幅広い知識や経験を持って、職員を指揮・監督する資質が問われ、その上で、司書資格があれば、なお良いということが大前提であります。現在、採用方法等を検討して

おりますが、司書資格という条件をつけながら幅広い知識を有し図書館の運営をきちんとできるのか、しっかり見極めて採用ということになると思います。

◇合田副委員長

図書館運営の基本である図書館協議会がどういうものなのか思いまして、資料を用意しました。学識経験があり、尚且つ、情熱があつてということであれば、それでも図書館というのは運営されなくはないのですが、基本的に図書館業務は専門職であり、図書館を図書館たる営みをしているところは、きちんとした専門職が入って、きちんとした運営がなされていることを考えますと、以前から謳われていた専門職を守っていくというのは、大切だと思います。館長が司書資格を有するから要件を満たすということではなくて、基本的に図書館法で謳われていた条件を充たすような運営をすることが基本であるだろうと思います。

◇竹内委員長

今の件で、他にありますか。

◇松橋部長

今の合田委員さんのお話しは、私どもも認識しております。地方分権法の流れの中で、補助金の縛りとして司書資格の図書館長の配置が位置づけられていました。その縛りがなくなったから、図書館に司書資格の館長が不必要だということにならないということが日本図書館協議会の中でも言われております。ただ、地方自治体の行政運営は、地方に任された権限で行っています。少し前までは司書資格のある人材が館長に配置されていた経緯はありますが、資格がなくても館長として図書館の運営に支障が生じないよう人材の配置がなされてきたものと認識していますが、提言を受けて、より図書館の運営としては、資格を有した人材との考えで進めているところでございます。

◇合田副委員長

司書資格の無い館長で支障がないというのは、認識が正しくないと思います。図書館長という本当の意味での専門性を備えた館長が配置されていれば、もっと違った形で図書館が安定してきたのではないかと思います。行政手腕のある職員が配置されれば、それなりの発展は見込めますが、基本的には専門性を備えたしっかりした図書館長がいるべきで、その理念を外してはいけないと思います。地方分権ですから当然行政でやりくりしなければいけないことは十分理解していますが、行政の中で、図書館

のあるべき姿を理解されていれば形は違ってくると思います。

◇竹内委員長

この件はよろしいでしょうか。以上で（１）市民自治推進委員会からの提言に対する回答の件については終了します。次に（２）「平成２１年度主要な取り組みについて」事務局よりお願いします。

◇小嶋館長

平成２１年度の主要な取り組みについてであります。図書館まつりや読書感想文・感想画コンクールなどは今までどおり実施していきたいと思っています。来年度は特に絵本の読み聞かせの部分で男性の方やお年寄りの方も参加していただけるような内容を企画したいと考えています。それ以外には内部改修工事と図書館駐車場の整備です。内部改修は、応接セットが有る部分と物品庫を一つにして事務室とし、事務職員席の部分に畳や絨毯を敷いて、読み聞かせができるように改修すると共に、幼児室や児童室にたくさんの児童書を展示したいと考えています。駐車場の整備については、現在、４台の駐車スペースを６台に増やし、併せて、駐輪場も整備し利用者の利便を図りたいと考えています。

◇合田副委員長

今年、図書館まつりを初めて図書館主催で運営する方法に移行したのですが、本来であれば図書館がしなければならない事業です。図書館を利用する人をもっと呼び込み、図書館を市民に周知する努力が必要と思います。これまで実行委員会形式で３年間してきましたが、職員側の対応に憤慨して、一旦、これはお返しすべきという思いで図書館に移行しました。本来、行政がする仕事と私たちがする仕事は違うと思っています。市民の力を借りて実施するのですから予算措置しない発想は理解できません。事業予算の中からいくらかでも、５万円か１０万円をこの図書館まつりの経費に割り当てるようお願いしたい。

◇松橋部長

図書館が主体的に図書館まつりをする場合、いろんな方の協力がないとできませんが、必要な経費は図書館でできる限り確保したいと考えています。

◇小嶋館長

基本的には、この図書館まつりは、皆様のお力を借りながら助け合って実施するものと認識しております。

◇合田副委員長

しかし、ほとんどのボランティアが手弁当で、材料費なども全部ボランティアですから、予算が無いといろいろな意味で発展性は望めないと思います。

◇松橋部長

来年度、実施にあたり皆様の意見を聞きながら計画されると思いますが、予算の中で対応できるものは対応する考え方でおります。

◇須藤委員

来年度、「おはなしぼけっと」の方で構想をたてて、皆さんに協力して貰いやっていきたいと思いを挙げました。事業に係る経費については、図書館に確認したと思っています。

◇竹内委員長

今年度、図書館まつりにどのくらいの経費がかかったのですか。

◇永森主査

今年度は、講師の謝金と印刷経費等の雑費部分で、足りない物品について要望がありましたら現物で用意しました。今後も、早めに、見直しするなど対応していきたいと思えます。

◇竹内委員長

確認ですが、来年度も図書館が主体で実施するのですか。また、予算面も手当することよろしいでしょうか。

◇小嶋館長

来年は「おはなしぼけっと」の須藤さんに実行委員会をお願いすることになっておりますが、単独で進めるのではなくて、図書館と一体になって実施することになります。必要な経費は予算の中で対応していきます。

◇竹内委員長

催し等に関して、他に何かありませんか。次に、内部改修の件で、現場を見る前に何か聞きたいことがあればお願いします。なければ次に、(3)の平成20年度図書館要覧について事務局より説明をお願いします。

◇小嶋館長

年度別利用状況で貸出冊数は198,843冊、昨年と比較しますと1万4千冊、6.7%減っています。図書館では、いろいろ取り組んでいますが、結果的にこうい

う数字になったので報告させていただきます。また、貸出数を増やすためこぐま号を学校や保育所に巡回し、昨年あたりから市の子育てグループと連携をとりながら、夏休み、冬休みに児童クラブにも拡げています。以上です。

◇竹内委員長

今の件についてはどうでしょう。

◇合田副委員長

児童館の図書はどこで手当しているのですか。

◇松橋部長

児童館の図書は保健福祉部が担当します。

◇合田副委員長

児童の集まる場所に本の環境を整えることは大切です。手がないので、今の図書館にあれもこれもといっても本当に難しいので、市民とどのようにタイアップしていかるか大きな課題があると考えております。本はもったいないので、環境整備をやっていただけるといいなと思います。

◇永森主査

こぐま号は現在、保育所・幼稚園・小学校・児童クラブに巡回しており、今後は、児童館を予定しておりますが、その他巡回が必要な施設がありましたら合田委員からご指導いただければと思います。

◇竹内委員長

他によろしいでしょうか。

◇須藤委員

たまたま、一市民の方と話したところ、その方は、10年ぶりに登別の図書館に来て、何を読んでいいか迷って職員の方に「何か私でも簡単に読める本はないですか」と尋ねたところ、『このような本はどうですか。』と薦めてくれました。その本がとても面白かったことから、それを契機に図書館に通い詰めているとのことでした。このような場合、専門職の職員の方がいると、「この方はこういう傾向を読む」と思って薦めてくれた。その本は、自分では選ばない分野だけれど、薦めてくれたお陰で幅が広がったとのこと。図書館に来た時は、どの本を読んだら良いか職員の方によく聞いたり、もっと相談したいとお話でした。

◇竹内委員長

ただ今のご意見も参考にさせていただければと思います。他に何かありませんでしょうか。

(3) の件はよろしいでしょうか。それでは、議案3その他に入ります。

◇合田副委員長

1点目は、指定管理者の件ですが、市長から、導入することはないとのご返事で、それから職員の配置等を伺うと導入というのは、当面、回避されたのかと感じたのですが、そののところをきちんと確認させていただきたいと思います。

2点目は、ブックスタートをするという回答をいただいているのですが、その内容についてお考えがあれば伺いたいと思います。

◇松橋部長

指定管理者につきましては、行政改革の集中プランに位置づけられ検討することになっております。図書館、教育委員会も含めていろいろ検討してきたのですが、日本図書館協議会とか専門機関のところは、基本的には、導入に反対の意見が多い状況にあります。導入しないところは300も400もあります。逆に導入したいとしているところは30とか40程度、道内では釧路とか千歳など少ない状況であり、我々もいろいろ調べているが、教育委員会としてどうするかという方向付けは決っていない。まだまだ研究していかなければいけない状況にあります。

最近の情報としては、札幌市の図書館協議会で指定管理者をどうするかとの議論しております。その結果を申し上げますとまだ時期が早い。引き続き検討する必要があるという意見が出ていました。

私たちとしては、「する」「しない」という結論に達する状況にはない。まだ検討していかなければならない。その検討の方法は、札幌の図書館協議会の中で協議してもらって、今回はまだまだ検討が必要との報告をいただいたので、するしないと言うよりもどうあるべきなのか協議会で皆さんと議論していただいてもよいと思っております。

それから、ブックスタートについては12月議会で一般質問があり、導入するのかわからないのかという質問でしたが、どういう仕組みでできるのか検討したいという答弁をしています。今後、やるにしても図書館や子育てグループだけでなく、市全体として検討していくこととなります。

◇合田副委員長

いずれにしても、基本的には、図書館のあるべき姿がわからないと議論できないので、そういう情報をしっかり提供していただくこととそれから常任委員会とか行政内部で決めてしまうことがないように、基本的には、多くの市民の利用者のもとで議論がされるように、取り敢えずは協議会の中で資料を提供していただき、そのうえで多くの市民に呼びかけて、市民議論を喚起していただきたい。

◇松橋部長

札幌市も基本的には、図書館法で定められた協議会ですから、図書館運営のサービスはどうあるべきなのかの中の一つとして指定管理者の検討をして貰っておりますので、そういう意味では、同じく私達の協議会の中で検討して貰ってもいいのかなと思っています。ただ、それだけでいいのかなという部分もありますので、その辺も皆さんと協議していきたいと思います。

◇須藤委員

ブックスタートについて、お尋ねします。そこにボランティアが入って3つがよく動いていないとどっかに比重が掛ると長続きしません。せつかく予算化されて2～3年で消えるのもそこが原因です。そのためにはブックスタートだけの協議会があっても良いと思います。

◇松橋部長

細かく言うと12月議会ではそこまで触れていました。ワークショップなどを設置して検討していきたいと答弁しております。

◇街道委員

以前から図書に書評を添付しているのを拝見し、事務量や手数を思い感謝しています。それに加えてのお願いですが、書評の出典、掲載年月日も併せて掲載していただけると大変ありがたいので要望します。

◇小嶋館長

可能であればそのようにさせていただきます。

◇竹内委員長

他にご意見が無ければ、以上で本日の協議会を終了します。